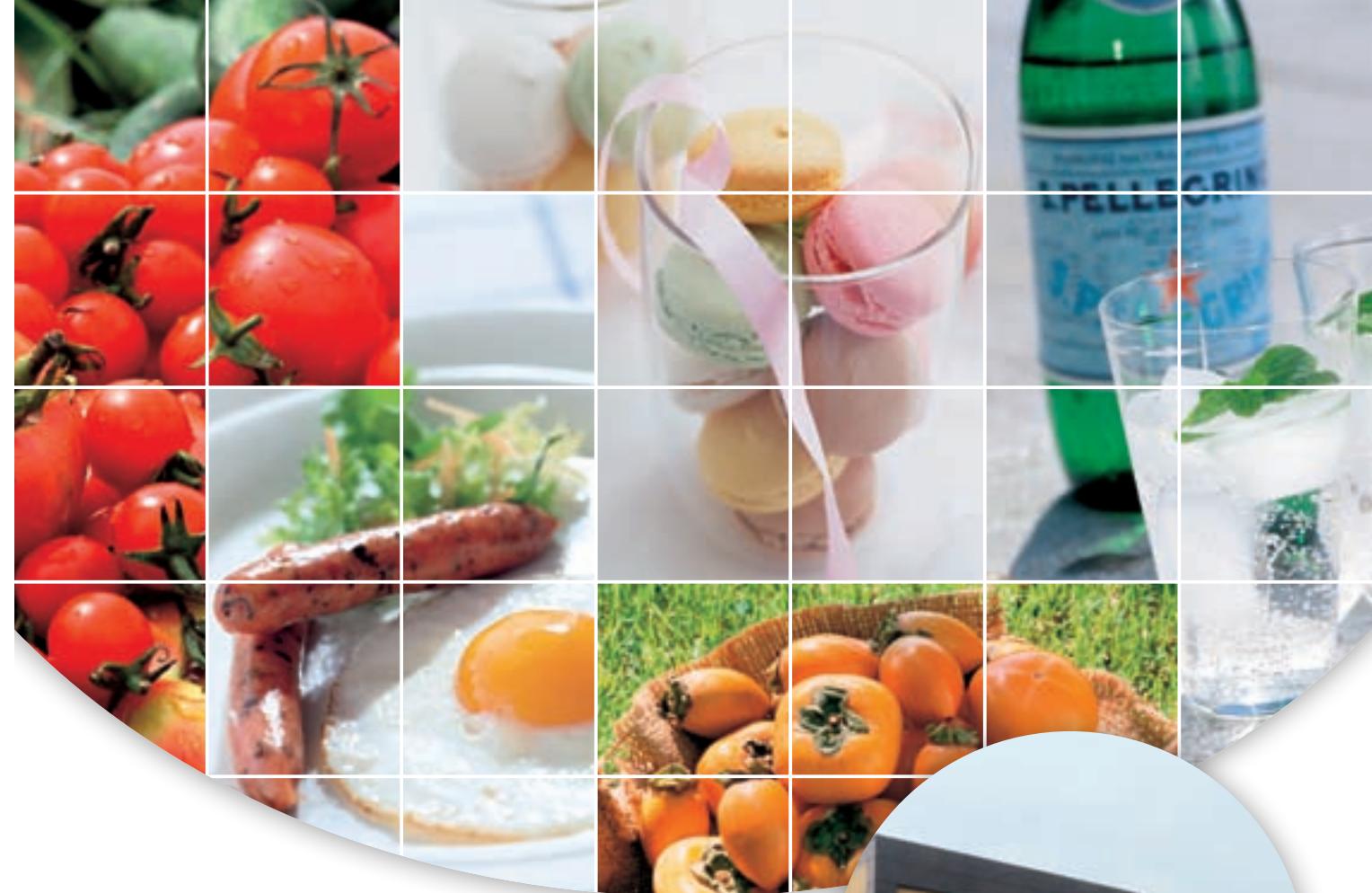




(証券コード 8274)



株主の皆様へ

第64期 中間報告書 (第2四半期)

平成21年3月1日から平成21年8月31日まで





## ■ 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当社グループは平成21年8月31日をもって、第64期（平成21年3月1日から平成22年2月28日まで）の第2四半期（中間期）を終了致しましたので、その概況をご報告申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、昨年秋以降の急速な景気の悪化が続き、国の経済対策の効果により一部景気持ち直しの動きが見られたものの、雇用情勢は一段と悪化し依然として厳しい状況が続いており、小売業界におきましても、雇用・所得環境の悪化による個人消費の低迷、販売競争の激化等によりデフレ傾向に拍車がかかり、近年例を見ない厳しい状況で推移致しました。

このような情勢のもと、当社グループは「新中期経営計画“CHALLENGE 1000 PLAN”」（平成19年度～平成22年度）に基づき、①新店開発（4年間で20数店舗を出店）、②従業員の採用、教育の拡大、充実、③既存店の改装を通じて活性化と収益基盤の一層の充実等諸施策を推進するとともに、店舗の競争力を高め、競合店との差別化を図るため、「良質スーパー」へ志向し、「商品力の強化」、「鮮度の強化」、「販売の質のレベルアップ」を重点施策として取り組みました。

その結果、当第2四半期の業績は、売上高は414億47百

万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は積極的な新規出店に伴う新店経費増加により7億84百万円（前年同期比35.2%減）、経常利益は9億8百万円（前年同期比31.3%減）、第2四半期純利益は7億94百万円（前年同期比30.9%減）となりました。

### 1. 事業別営業概況

#### （1）小売業

売上高 399億72百万円（前年同期比0.4%減）

#### <株式会社東武ストア>

株式会社東武ストアでは「新中期経営計画」の3年目にあたり、以下の諸施策の徹底を図ってまいりました。

#### 1) 新店の開設と既存店の改装

##### ①新店の開設

平成21年4月28日に我孫子店（千葉県我孫子市、売場面積667㎡）、同年6月26日に大宮堀の内店（埼玉県さいたま市、売場面積980㎡）、同年7月10日に船橋法典店（千葉県船橋市、売場面積861㎡）の3店舗を開設し、当社の店舗は同年8月31日現在で合計54店舗となりました。

##### ②主な既存店の改装

食品部門の販売力強化を目的に、土呂店、下高

井戸店、蒲生店の3店舗の改装を行いました。

#### 2) 「良質スーパー」へのチャレンジ

##### ①商品力の強化

美味しさにこだわった商品、健康・安心・安全にこだわった商品、地場野菜などの地産地消商品等を積極的に導入し商品力を強化致しました。

##### ②鮮度の強化

生鮮食品及び日配食品において卓越した鮮度の良い商品を提供するため、「高鮮度宣言」を掲げて鮮度強化に取り組みました。

##### ③販売の質のレベルアップ

試食販売や実演販売を積極的に行い、また分かりやすい表示や分かりやすい商品説明を行うなど販売の質のレベルアップを図りました。

#### 3) その他販売面の主な取組事項

##### ①ナイトマーケットの拡大

平成21年8月31日現在、全54店舗のうち24時間営業店舗が31店舗、23時以降までの営業店舗が15店舗で合計46店舗が24時間営業もしくは深夜営業の店舗となっております。

##### ②「Vマーク商品」の拡販

私鉄大手八社が共同で商品開発を進めてきた八社のプライベートブランド「Vマーク商品」の拡販に努めました。

#### ③創業50周年記念セール

創業50周年記念セール第一弾を平成21年5月22日～24日、第二弾を同年5月29日～31日にそれぞれ開催致しました。

#### 4) 経費削減の主な取組事項

電気使用量の徹底した削減による水道光熱費の削減及び経営コンサルタント指導のもとに、器具備品や設備投資等にかかる経費削減に努めました。

#### <株式会社東武フーズ>

当社店舗内を中心にファストフード店、インスタパーカリー等を運営している株式会社東武フーズでは、ファストフードとベーカリーの2大事業のバランスを取りながら効率化を追求して、安定した利益を確保できる企業体質の強化に努めてまいりました。

#### （2）その他

売上高 14億74百万円（前年同期比0.2%減）

その他と致しましては、子会社の株式会社東武警備サポートが警備業、メンテナンス業、人材派遣業を行っているほか、当社物流センターにおける配送料収入等があります。



株式会社東武警備サポートでは、新規人員の確保と人材の育成に注力し、業容の拡大と効率経営を追求してまいりました。

当第2四半期における売上高の部門別内訳は次のとおりであります。

部 門	売 上 高	構 成 比	前年同期比
小売業	百万円	%	%
加工食品	15,628	37.7	+1.3
生鮮食品	14,858	35.9	+0.7
(食品計)	(30,486)	(73.6)	(+1.0)
衣料品	1,673	4.0	△11.6
生活用品	1,470	3.5	△2.8
商 事	282	0.7	△7.8
専 門 店	6,059	14.6	△2.9
小 計	39,972	96.4	△0.4
その他			
警備業等	1,474	3.6	△0.2
合 計	41,447	100.0	△0.4

## 2. 通期の見通し

### 連結業績見込

売上高	844億円 (前期比 2.4%増)
営業利益	18億円 (前期比16.8%減)
経常利益	20億円 (前期比16.2%減)
当期純利益	18億円 (前期比11.9%減)

小売業界においては、引き続き雇用・所得環境の悪化による個人消費の低迷、販売競争の激化等非常に厳しい状況が予測される中で、当社グループにおきましては、基礎基本の徹底により内部体質を強化することを目的に、次の課題に取り組んでまいります。

- ①「良質スーパー」のレベルアップ  
「商品力の強化」、「鮮度の強化」、「販売の質のレベルアップ」の実現に向けて取組みを強化して「良質スーパー」のレベルアップを図ります。
- ②「粗利益高(率)」の確保
- ③「ローコスト体質」の一層の強化

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年11月

取締役社長 玉置 富貴 雄

## トピックス

### 4月 我孫子店オープン

4月28日(火)、千葉県我孫子市のJR常磐線「我孫子駅」駅前にオープン致しました。24時間営業の駅前立地型食品スーパーマーケットで、惣菜の厨房が店外の通りからも良く見えるのが特徴です。



### 6月 大宮堀の内店オープン

6月26日(金)、埼玉県さいたま市のJR「大宮駅」東口より1.2kmの立地にオープン致しました。

健康・安心・安全な有機野菜や新鮮さが売りの地場近郊野菜の品揃えを行っております。



### 5月 創業50周年記念セール

創業50周年(昭和34年創業)を記念して、5月22日(金)から全店で大創業祭を開催致しました。東武ストア商品券プレゼントのキャンペーンを行い、大変好評を頂きました。



### 7月 船橋法典店オープン



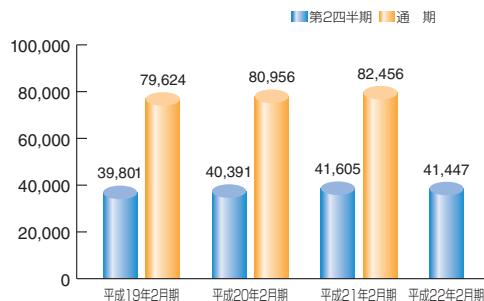
7月10日(金)、千葉県船橋市のJR武蔵野線「船橋法典駅」駅前にオープン致しました。同店の開店で当社の店舗数は合計54店舗となりました。惣菜の厨房はシースルーになっているので、加工している様子が良く見え、手作りと安心へのこだわりをお客様にアピールしております。



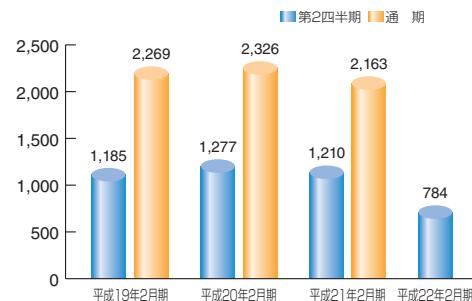


## ■ 営業成績の推移（連結）

■売上高（単位：百万円）



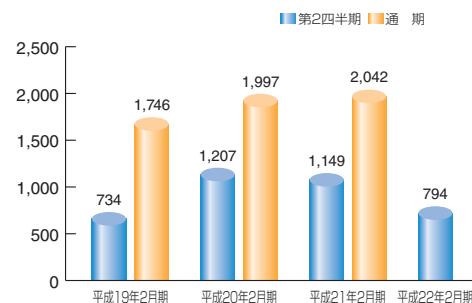
■営業利益（単位：百万円）



■経常利益（単位：百万円）



■第2四半期（当期）純利益（単位：百万円）



(単位：百万円)

区 分	平成19年2月期		平成20年2月期		平成21年2月期		平成22年2月期
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期
売上高	39,801	79,624	40,391	80,956	41,605	82,456	41,447
営業利益	1,185	2,269	1,277	2,326	1,210	2,163	784
経常利益	1,214	2,362	1,344	2,496	1,321	2,388	908
第2四半期(当期)純利益	734	1,746	1,207	1,997	1,149	2,042	794

(注) 金融商品取引法に基づく四半期報告制度の導入に伴い、前期以前における中間期も含めて当該期間を「第2四半期」と記載しております。

## ■ 第2四半期決算の概要（連結）

■四半期連結貸借対照表（要旨）

科 目	当第2四半期末	(ご参考) 前第2四半期末	前期末
	(平成21年8月31日現在) 百万円	(平成20年8月31日現在) 百万円	
<b>(資産の部)</b>			百万円
流動資産	9,301	9,272	10,073
固定資産	21,116	21,192	20,733
有形固定資産	12,847	12,328	12,316
無形固定資産	282	416	361
投資その他の資産	7,986	8,447	8,055
<b>資産合計</b>	<b>30,417</b>	<b>30,464</b>	<b>30,806</b>
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	5,875	6,357	6,407
固定負債	3,207	3,731	3,395
<b>負債合計</b>	<b>9,083</b>	<b>10,088</b>	<b>9,803</b>
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本	24,595	23,405	24,294
資本金	9,022	9,022	9,022
資本剰余金	8,061	8,061	8,061
利益剰余金	7,565	6,369	7,263
自己株式	△ 54	△ 48	△ 52
評価・換算差額等	△ 3,261	△ 3,029	△ 3,291
その他有価証券評価差額金	190	422	159
土地再評価差額金	△ 3,451	△ 3,451	△ 3,451
<b>純資産合計</b>	<b>21,334</b>	<b>20,375</b>	<b>21,002</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>30,417</b>	<b>30,464</b>	<b>30,806</b>

ポイント①

ポイント②

ポイント③

### ポイント①

当第2四半期末の資産合計は、前期末に比べ3億89百万円減少し、304億17百万円となりました。新店を3店舗開設したこと等により有形固定資産が5億31百万円増加する一方、新店設備代の支払いによる剰余金の減少などにより流動資産が7億72百万円減少したこと等が要因です。

### ポイント②

当第2四半期末の負債合計は、前期末に比べ7億20百万円減少し、90億83百万円となりました。約定弁済により借入金が4億41百万円減少したこと、また前期末の未払金が支払いにより減少したこと等が要因です。

### ポイント③

当第2四半期末の純資産合計は213億34百万円となり、前期末に比べ3億32百万円増加しました。剰余金の配当を4億92百万円支出しましたが、第2四半期純利益を7億94百万円計上したこと等により、株主資本は前期末に比べ3億1百万円増加しました。また、評価・換算差額等では、保有有価証券の値上がりにより、その他有価証券評価差額金が31百万円増加しました。



■ 四半期連結損益計算書 (要旨)

科 目	(ご参考)		
	当第2四半期 (平成21年3月1日から 平成21年8月31日まで)	前第2四半期 (平成20年3月1日から 平成20年8月31日まで)	前 期 (平成20年3月1日から 平成21年2月28日まで)
	百万円	百万円	百万円
売 上 高	41,447	41,605	82,456
売 上 原 価	30,627	30,768	60,764
売 上 総 利 益	10,819	10,837	21,692
販売費及び一般管理費	10,034	9,626	19,528
営 業 利 益	784	1,210	2,163
営業外収益	148	145	292
営業外費用	24	34	67
経 常 利 益	908	1,321	2,388
特 別 損 失	57	117	240
税金等調整前四半期(当期)純利益	850	1,203	2,148
法人税、住民税及び事業税	55	54	105
法人税等調整額	0	0	0
四 半 期(当 期)純 利 益	794	1,149	2,042

ポイント ④

当第2四半期は、新店を3店舗開設しましたが、既存店の売上減少をカバーできず、売上高は前年同期比0.4%減少しました。しかしながら、粗利益率を改善し、売上総利益は前年同期比18百万円の減少にとどめることができました。一方、経費につきましては、全社を挙げて水道光熱費の節約など経費削減に努めました。新店経費の増加があり、経常利益は前年同期比31.3%の減少となりました。当第2四半期は、棚卸資産の評価に関する会計基準を適用し、特別損失に商品評価損を29百万円計上しました。前年同期にポイント引当金繰入額1億円を計上しており、特別損失は前年同期比60百万円の減少となりました。以上の結果、第2四半期純利益は前年同期比30.9%の減少となりました。

ポイント ④

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

科 目	(ご参考)		
	当第2四半期 (平成21年3月1日から 平成21年8月31日まで)	前第2四半期 (平成20年3月1日から 平成20年8月31日まで)	前 期 (平成20年3月1日から 平成21年2月28日まで)
	百万円	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,810	2,091	3,298
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,312	△ 489	△ 513
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 933	△ 985	△ 1,451
現金及び現金同等物の増減額	△ 435	616	1,332
現金及び現金同等物の期首残高	6,018	4,686	4,686
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	5,583	5,302	6,018

ポイント ⑤

ポイント ⑤

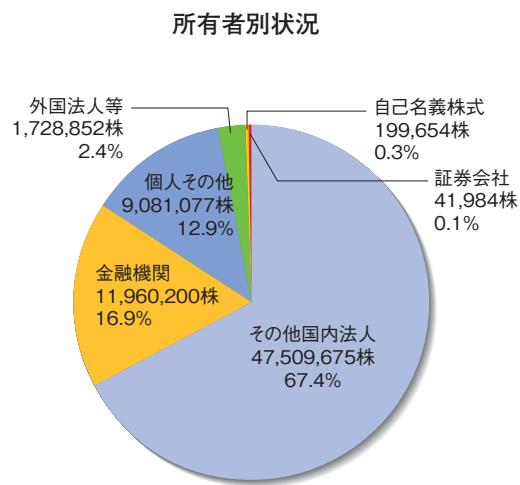
当第2四半期末の現金及び現金同等物残高は55億83百万円となり、前期末に比べ4億35百万円減少しました。「営業活動によるキャッシュ・フロー」は18億10百万円の収入となり、前年同期に比べ2億81百万円収入が減少しました。税金等調整前四半期純利益が前年同期比3億53百万円減少したこと等によるものです。「投資活動によるキャッシュ・フロー」は13億12百万円の支出となり、前年同期に比べ8億23百万円支出が増加しました。新店3店舗の開設に係る有形固定資産の取得による支出が前年同期に比べ9億38百万円増加したこと等によるものです。「財務活動によるキャッシュ・フロー」は9億33百万円の支出となり、前年同期に比べ52百万円支出が減少しました。借入金の返済が前年同期に比べ50百万円減少したこと等によるものです。

■ 株式の状況 (平成21年8月31日現在)

発行可能株式総数 100,000,000株  
 発行済株式の総数 70,521,442株  
 株 主 数 4,594名  
 大 株 主

株 主 名	持 株 数	持株比率
	千株	%
丸紅フーズインベストメント株式会社	21,166	30.0
東武鉄道株式会社	18,575	26.3
株式会社損害保険ジャパン	2,187	3.1
株式会社みずほコーポレート銀行	1,868	2.6
株式会社埼玉りそな銀行	1,776	2.5
東武ストア取引先持株会	1,400	1.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	1,137	1.6
モルガンスタンレーアンドカンパニーインク	851	1.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	815	1.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(中央三井アセット信託銀行再信託分・CMTBエクイティインベストメント株式会社信託口)	800	1.1

■ 株式の分布



■ 役員 (平成21年8月31日現在)

代表取締役社長	玉置富貴雄
専務取締役	宮内正敬
常務取締役	永井利幸
取締役	杉生 繁
取締役	長岡 秀実
取締役	土金 信彦
取締役	山本 秀昭
取締役	戸口 成之
取締役	根津 嘉澄
取締役	笹岡 晃
取締役	保坂 直之
常勤監査役	丸内 武
監査役	岡田 大介
監査役	中島 直孝



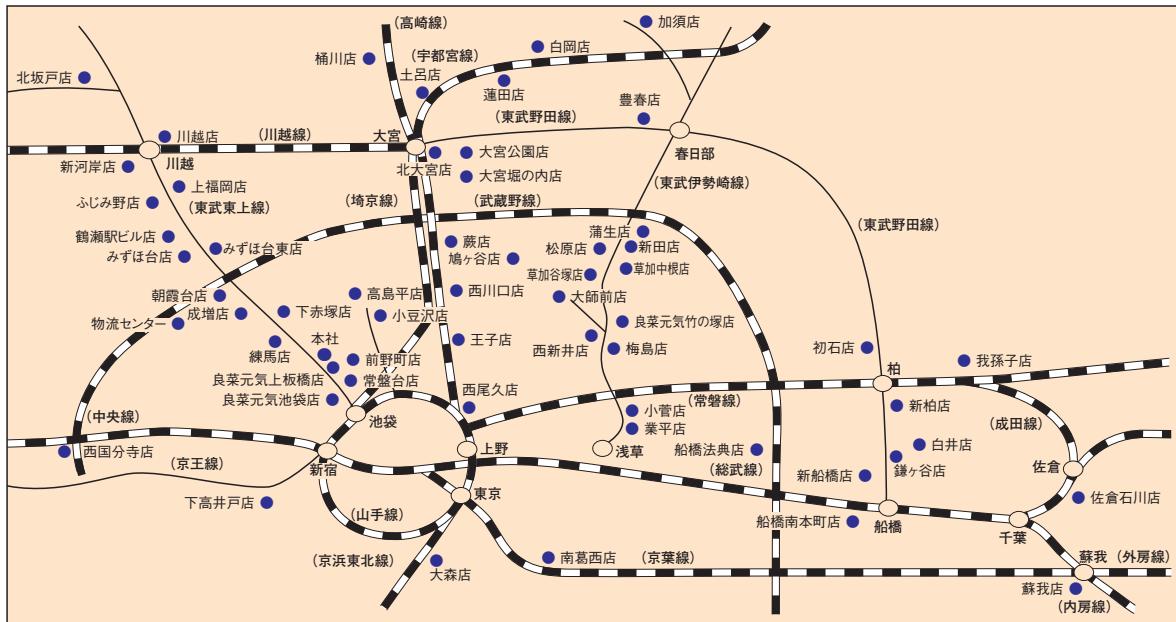
## ■ 会社の概要 (平成21年8月31日現在)

会社名 株式会社東武ストア  
 本社 東京都板橋区上板橋3丁目1番1号  
 創業 昭和34年6月1日  
 設立 昭和35年12月10日  
 資本金 9,022,000,000円  
 店舗数 54店  
 惣菜ショップ数 (良菜元気) 3店  
 従業員数 769名 (男性653名、女性116名)

グループ会社  
 株式会社東武警備サポート  
 本社 東京都豊島区西池袋1丁目4番10号  
 事業内容 警備業・メンテナンス業・人材派遣業  
 株式会社東武フーズ  
 本社 東京都板橋区上板橋3丁目1番1号  
 事業内容 ファストフード店・インスタペーカー等

上記の従業員数には、出向者41名及びパートタイマー1,925名(1日8時間換算)は含まれておりません。

## 事業所の一覧



## ■ 株式のご案内

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで  
 定時株主総会 毎年5月  
 基準日 定時株主総会の基準日は毎年2月末日とします。期末配当の基準日は毎年2月末日、また中間配当を行う場合の基準日は毎年8月31日とします。  
 公告方法 その必要がある場合は、あらかじめ公告致します。電子公告の方法により行います。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。  
 株主名簿管理人 電子公告アドレス (http://www.tobustore.co.jp/ir/index.html) 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社  
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
 (電話照会先) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

### 株主ご優待

1. 優待基準 (株主ご優待券又は図書カードを送付致します。)

株数	ご優待方法			
	株主ご優待券(券面額100円の割引券)		図書カード	
	年間贈呈額	1回当たり贈呈額	年間贈呈額	1回当たり贈呈額
1,000株 ~ 1,999株	160枚	80枚	2,000円分	1,000円分
2,000株 ~ 2,999株	320枚	160枚	4,000円分	2,000円分
3,000株 ~ 3,999株	480枚	240枚	6,000円分	3,000円分
4,000株 ~ 4,999株	640枚	320枚	8,000円分	4,000円分
5,000株以上	800枚	400枚	10,000円分	5,000円分

※受領された株主ご優待券又は図書カードは、未使用のまま全て返送することにより、上記優待基準に応じて交換致します。

### 2. 株主ご優待券のご使用方法

当社全店舗において、現金、商品券及びクレジットカードによる1回のお買い上げ金額(1枚のレシートの消費税込み金額)1,000円以上につき1,000円毎に各1枚ご使用できます。(当社商品券、ギフト券、たばこ及び当社指定の商品を除きます。)

### 株式に関する お手続きについて

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受領方法の指定等は株主様の口座のある証券会社にお申出下さい。証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出下さい。
- 特別口座の株式については、特別口座のままでは売買できません。売買を行う場合は証券会社の口座への振替が必要になります。手続きの詳細は上記記載の電話照会先にご確認下さい。
- 未払配当金の支払については、株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出下さい。

本報告書は、次の方法により記載しております。

- 1) 百万円単位の記載金額は百万円未満切り捨てて表示しております。
- 2) 千株単位の記載株式数は千株未満切り捨てて表示しております。